

■ 国内港湾特集

潮目が大きく変わる主要港の物流戦略 「港湾の中長期政策」で新たな方向付け
港湾の中長期政策「Port 2030」
グローバル・バリューチェーン支える海上輸送網構築など8本柱

・ 京浜港

横浜港…18/19年度を「競争力強化」集中期間

川崎港…コンテナ取り扱い拡大背景に運営体制や埋立・施設整備へステップ

東京港…コンテナ取扱量が20年連続国内トップ確実

・ 伊勢湾（中部） 『名四港湾』伊勢湾のCT一体運営へ本格始動

名古屋港…総取扱貨物量16年連続日本一で勢い

四日市港…国内外の活発なセールス目立ち20万TEU達成へ

・ 阪神港 阪神国際港湾は19年度までの第2期「中計」推進

神戸港…コンテナが震災後の記録超え過去最高も

大阪港…200万TEU超えで圧倒的な勢力誇るアジア

・ 北部九州

北九州港…総合物流拠点都市でアジアを広域カバー

博多港…国際海上コンテナ92万TEUと過去最高

■ 2018年のコンテナ船業界展望

■ 埼玉県コンテナラウンドユース推進協の取り組み

■ 2017年のアジア→北米荷動き 4年連続過去最高1,642万TEU

■ 航空貨物：18年度の航空貨物伸び率鈍化もプラス基調/日通総研 他

■ 資料室：2018年度わが国貿易収支・経常収支の見通し 日本貿易会まとめ